

キャラクター名  
谷地森 貴史 (やちもり・たかふみ)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ハヌマーン	ワークス	FHマーセナリーD	カヴァー	高校生
オプション	ソラリス	年齢	17	性別	男性
覚醒	無知	衝動	妄想	初期侵食率	29 %
出自	兄弟	経験	悲恋	邂逅	欲望：愛情

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1		0			1	行動値	7
感覚	1		0			1	(非装備時)	7
精神	4		1			5	戦闘移動	12
社会	2	1	0			3	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	4	
回避			知覚	1		意志	2		調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: FH	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
①②④	交渉	5r+5		4		装甲無視
①②④(100%)	交渉	13r+5		10		装甲無視
①②③④⑤	交渉	5r+5		19		対象3体、装甲無視
①②③④⑤(100%)	交渉	13r+5		30		対象4体、装甲無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ：FH幹部	
コネ：噂好きの友人	
コネ：手配師	
ボイスチェンジャー	

合計装甲： 0    合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
戦闘用人格 (LM)	P	N		
固定：天船巴	P 憧憬	N 恐怖		
固定：兄	P 親近感	N 隔意		
シナリオ：ブレイブボーイ	P 好奇心	N 不快感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10    残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
①コンセントレイト：ソラリス	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果:	C値-Lv							
②絶対の恐怖	4	3	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	攻撃力+LV、装甲値無視							
③神の御言葉	3	4	メジャー	-	-	対決	リミット	
効果:	組み合わせたエフェクトの攻撃力+[LV*5]、シナリオ3回							
④理知の城壁	1	1	メ/リ	-	-	-	-	
効果:	組合せた<交渉>を【精神】で判定可							
⑤風の渡し手	2	3	メジャー	-	-	[LV+1]体	-	
効果:	対象を[LV+1]体に変更、シーン1回							
人形使い	1	5	メジャー	視界	単体	対決	-	
効果:	<意志>対決、勝利で対象に命令可能、シナリオLV回							
竹馬の友	★		メジャー			自動		
効果:								
プロファイリング	★		メジャー			自動		
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

使用：基本1・2、EA、LM、PE、IC  
一人称：俺／二人称：アンタ、あなた（目上）／三人称：アンタたち、あなたたち

彼は、ごく普通の高校生だった。友人や家族と何気ない過ごし、普通の日常を過ごしていた。  
——彼女を一目見て、恋に落ちるまでは。

街中で偶然見かけた“マスターマインド”天船巴に一目惚れしたが、マスターマインドがそれに気付かず、利用しないはずない。彼女の言葉にそそのかされるように、彼はFHでの任務に緩やかに協力をさせられ、次第に離れられなくなっていった。その過程でいつの間にか、気付かぬ間にオーヴァードとして覚醒していた。彼は一目惚れした相手が恐ろしい相手であり、決して自分を見ることはないと思いついており、それでも彼女を好いており、彼女のためなら破壊することがあっても良いとすら思っており、それが彼の欲望である。

性格はごく平凡な普通の穏やかな高校生。  
だが普通の生活を送っていた平凡な彼の精神は、そばで天船巴の悪徳を見ることで次第に蝕まれていきその影響はレネゲイドの侵蝕率が高まっていくと同時に現れるようになりつつある。  
笑顔の裏には、彼女と同じように人を苦しませようとする願望が潜んでいるのかもしれない。